

# コープ災害ボランティアネットワークニュース

第80号

発行 東京都生活協同組合連合会

コープ災害ボランティア

ネットワーク幹事会

2015年9月

TEL 03-6844-3563

## 2015年度CO 災ボスキルアップ講座

### 「防災まち歩き・マップづくりトレーナー養成講座」開催

養成講座受講者が、地域の活動の中で「防災のまち歩きとマップづくり」を講師となつてすすめることができるように9月12日(土)東京都生協連・北新宿事務所会議室において、スキルアップ講座を開催しました。

CO 災ボ幹事と、すでにトレーナー講座を受講した会員がファシリテーターとなり、まち歩きで地域防災のきっかけ作りになるよう参加者6名に伝えました。生協活動や地域での防災・減災の視点を持った活動が今後広がることを期待します。

当日は早朝に少し強い地震があり、また連日の豪雨が各地に被害を及ぼしたりしていた為、緊張した思いでのスタートになりました。

#### 事前学習



地域の特徴を知ること  
地域の歴史を知ること  
で、より多くの視点で  
まち歩きができること  
を学びました。  
みんなで楽しく体験・  
交流・共有することが  
大切!

下調べや  
資料の調  
えが大切  
です!

#### 歩いて視察



災害時のまちを想像して歩くことで、その時役に立つ物も見えてきます。参加者に何を伝えるか考えながら歩きました。

#### 地図を作る



マジック・付せん・ドットシールなどを使って楽しく作業。  
材料をどう使うか、効果的な使い方などを教えながらすすめていくこと、作成するのは参加者です。常に意識して・・・

チェックポイント表を確認しながら目印のほかに訊いてきたことなどの情報も重要です!

#### 発表する

2つのグループで別コースを歩きました。発表することで、それぞれの特徴を共有し、行政によってまちの様子が違うことなどを知りました。



地域の良いところや、改善が必要な点をみんなで確認できる機会です。

#### 修了

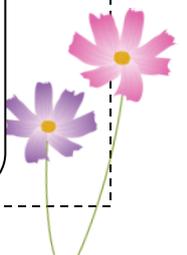


代表幹事の大矢さんから修了証が手渡されました。「いざというとき、ボランティアに求められるのは、寄り添える活動、そのことが大事」と話されました。

#### 参加者感想

- ◆行動が地図に表現できとてもよかった。
- ◆グループで行うことで自分では気付かなかったことが多く、経験を積むことが必要と実感した。
- ◆トレーナーとしての視点が持てなかったが多かったが、みんなと一緒に楽しんで歩けた。
- ◆経験を重ねていきたいと思った。

6人の修了者の中で3人が、第15期養成講座(第2回)のまち歩きでファシリテーターとして参加予定。活動の輪が広がっていきそうです。



## 平成 27 年度 東京都・立川市合同総合防災訓練に参加しました



9月1日(火)防災の日、平成27年度東京都・立川市合同総合防災訓練が、国立昭和記念公園を会場に行われました。訓練の統一テーマは「自助・共助」と「連携」。

CO 災ボは、立川市社会福祉協議会の主催するボランティア訓練に参加し、各証明書の発行訓練状況の把握や、陸上自衛隊と赤十字社の炊き出し訓練状況の把握、また、どのような機関や企業が特殊車両を展示しているかなどを把握したり体験したりする訓練へ9名が参加しました。

当日は雨が強く降る時間もあったりしたため、実施時間も短く、予定していた訓練が実施できないなどの変更もあったようですが、大変よい経験となりました。



罹災証明書発行の変更について学びました！

東京都との間に大規模災害における「応急生活物資の供給等に関わる基本協定」を締結している東京都生協連では、それを履行するための物資搬送訓練を、東京都と会員生協との無線連絡なども含め実施しました。また、展示ブース内で東日本大震災などの大災害の記録を展示し忘れないことをアピール、防災クイズラリーでは、食品備蓄のアイデアなどをクイズ形式でお知らせしました。



■東京都生協連のブース

展示ブースでは、CO 災ボの活動報告パネルも展示しました。防災まち歩き・マップづくりの様子や CO 災ボ養成講座の第 15 期の内容などをお知らせすることで、地域防災の必要性をアピールしました。

## みんなの活動報告

ネットワークニュース 79 号でお伝えした活動交流会は、みなさんからのアンケートの中から発表者・報告していただきました。アンケートにはまだまだ活動のヒントがたくさん！！毎号ネットワークニュースで紹介していきます。

■区内保育園で、防災ワーキングチームを立ち上げて、避難計画や備蓄品、親との通信手段等に取り組んでいる。

■東村山市災害ボランティアの会会員として、災害が発生した時に、社会福祉協議会の職員を助けて働けるように事前学習に励んでいる。災害時のトイレについて、会や市内の自治会など何か所かで発表して好評だった。

■「せたがや環境学習会」区の協力でまち歩きや公園の設備を実際に使ってみる活動（トイレ給水設備）。ボラセンからの依頼により、地元の高校生のまち歩き防災活動の支援。

■区の災害協力隊の副隊長だった。現在は隊を離れ、個人で区の研修などに参加している。平成 25 年に、区の助成を受けて、防災士になった。

